

アンケートへの回答

立憲民主党

質問 1-1

今回の参議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療基本法の制定が明記されていますか。

明記されていません。

質問 1-2

質問1-1の回答が、「明記されていない」である場合、その理由を教えてください。

現時点においては医療基本法について法案化を検討していないため、今回の参議院議員選挙における公約には盛り込んでいません。

質問 1 - 3

医療基本法に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

立憲民主党は「政策集 2022」の中に、ご提案頂いた「医療基本法要綱案（医療基本法フォーラム版）」の基本的施策に関連する施策として、新型コロナウイルスのまん延により生じた課題を踏まえた地域の医療提供施設相互間の機能の分担と業務の連携等の見直し、「コロナかかりつけ医」制度と「日本版家庭医制度」の創設、国民皆保険の堅持、医療事故調査体制の充実、医療従事者の働き方改革、被害者救済のための制度づくり等を盛り込んでいます。

質問 2- 1

今回の参議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進について、記載されていますか。

記載されていません。

質問 2-2

質問 2-1 の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えてください。

現時点においては医療政策の決定プロセスへの患者市民の参画推進について法案化などを検討していないため、今回の参議院議員選挙における公約には盛り込んでいません。

質問 2-3

医療政策の決定プロセスへの患者・市民の参画推進に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

立憲民主党は「政策集 2022」の中で、「2014年に成立した難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）で全国に設置された難病対策地域協議会の実態を把握し、患者・家族の積極的な参画を促すための支援を行い、協議会の活動を活性化します。」と記載しています。難病に関する政策に限らず、医療政策の決定プロセスへの患者市民の参画推進は重要であると考えます。

質問 3 - 1

今回の参議院議員選挙における貴党の政権公約またはマニフェストに、患者の権利の尊重・擁護について、記載されていますか。

記載されていません。

質問 3-2

質問 3-1 の回答が、「記載されていない」である場合、その理由を教えてください。

現時点においては患者の権利の尊重擁護について直接的に規定する法案などを検討していないため、今回の参議院議員選挙における公約に明確には盛り込んでいません。

ただし、立憲民主党は、コロナ禍の中で重症化リスクが高い人などが、確実に医療を受けられる「コロナかかりつけ医」制度を創設する法案、さらに日常からの健康管理・相談や総合的な医療提供（プライマリ・ケア）機能を持つかかりつけ医を「家庭医」と位置付ける「日本版家庭医制度」を創設する法案を国会に提出しました。これらの制度を創設して、一人ひとりの状態に対応した健康管理、必要な時の必要な医療の提供等をできるようにすることで、大切な命と健康を守り抜くことを参議院選挙の公約に記載しています。

質問 3 - 3

患者の権利の尊重・擁護に関する貴党の考え方について、自由に記載して下さい。

立憲民主党の前身である旧立憲民主党、旧国民民主党も賛成して成立した成育基本法には「成育医療等の提供に関する施策は、成育過程にある者の心身の健やかな成育が図られることを保障される権利を尊重して推進されなければならない。」との規定が盛り込まれています。患者の権利の尊重擁護は重要であると考えます。

質問 4

わたしたちの医療基本法要綱案フォーラム版に関する貴党の見解を自由に記載して下さい。

コロナ禍の中で、入院できないまま自宅に放置され、救えるはずの命が救えないという深刻な事態に陥りました。患者が医療を受ける権利が損なわれてしまったことに鑑みれば、医療を受ける人の権利などを法律で明らかにすることの重要性が高まっていると考えます。